



第
83
号

発行日：2023年10月1日
 発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
 (大津市地球温暖化防止活動推進センター)
 住所：〒520-0047大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津4階
 電話：077(526)7545
 フォーラムHP：https://eco-otsu.net
 Eメール(事務所)：forum@eco-otsu.net



<事務局長から> 秋色の候 大津祭の曳山巡行が、4年ぶりに13基揃って執り行われることとなり、楽しみにしています。今年度前期事業は猛暑の影響を受けたものの無事終えることができ、今月から後期事業が始まります。皆様のご支援、ご協力よろしくお願いたします。現在は、次年度事業計画案の作成に向け協議を深めているところです。多くの人々が参加していただけることを願っています。

会員数113名 (2023年9月末現在)

トピックス

○「**おおつエコフェスタ2023**」を開催しました

8月6日、ピアザ淡海3階大会議室とホワイエでおおつエコフェスタ2023を開催し、家族連れを中心とした約1,200人の皆さまにご来場いただきました。

新型コロナウイルスの5類移行を受けて4年ぶりに予約不要の自由参加形式となり、子どもたちが時間制限なくいくつものブースをめぐる楽しむことができ、会場は大にぎわいでした。



会場には、初参加を含め22の団体が出展され、環境に関するクイズやリサイクル工作などさまざまな体験イベントを実施されていました。おおつ環境フォーラムからも、ビオトーププロジェクトが牛乳パックで万華鏡を作るブース(写真下段中)を、エネルギープロジェクトが家庭の省エネ診断のブース(同右)をそれぞれ出展し、多くの参加者に訪れていただきました。ステージでは、子どもたちによるチアダンス2組と歌や手遊び・エコ紙芝居のグループ(同左)、バルーンアートの計4組によるステージショーがあり、大勢の親子が楽しみました。また、休憩所として設定した隣の会議室では、今年から地球温暖化や食品ロスの啓発ビデオを上映しました。食事や休憩をとりながら、子どもたちも熱心に見入っていました。

○ 自然家族事業「**びわ湖の日1 ~湖の学校~**」を開催しました

7月29日、びわ湖大津館に滋賀県琵琶湖環境科学センターの先生方を講師陣にお迎えして、自然家族事業「びわ湖の日1 ~湖の学校~」を開催し、9家族27人(おとな13人子ども14人)が参加されました。

あいさつのあと、底生成物班(写真上段)4家族11人とプランクトン班(写真下段)5家族16人に分かれて生きもの採集に館前の湖岸へ向かいました。湖岸では、先生方が実際の研究で行っている方法の実演を兼ねて、底生生物とプランクトンを採集されました。採集後、両班ともにびわ湖大津館に戻り、それぞれ講師の先生から湖の生きものについてお話を聴き、観察しました。

底生生物班では、湖底の泥や砂の中からミミズやヒル、シジミ、タニシなどを見つけ、数を数えました。採集したところが泥だと生きもの種類も数も少なく、砂地だといろいろな生きものがたくさんいることがわかりました。プランクトン班では、生きて動いているプランクトンを顕微鏡で観察し、図鑑と見比べて種類を調べました。先生方があらかじめ北湖で採集されたプランクトンも観察し、種類の違いを確かめました。びわ湖大津館の近くではアオコの原因となるアナベナの仲間が多くいました。最後に、先生方に各班のまとめと全体の総括をしていただき、さらに水草のお話と実物の観察、標本の作り方もご指導いただきました。夏休みの自由研究にうってつけの講座でした。



○ おおつ市民環境塾 講座4「生物多様性って何だろう」を開催しました

7月15日、ふれあいプラザに京都大学大学院地球環境学准教授の深町加津枝先生をお招きして、おおつ市民環境塾講座4「生物多様性って何だろう」を開催し、20人が参加されました。

すべての生きものは他の生きものとのつながりを持ちながら生きています。多種多様な生きものの存在が、人間にとって生きるために必要なだけでなく、文化や精神的豊かさを保つためになくしてはならない存在なのです。表面的に都合の良い生きものだけを大切にしていたのでは豊かさは保てません。自然をひたすら保護するだけが良いわけではなく、人の営みも他の生きものの輪の中に組み込まれていることを踏まえながら、総合的に豊かさとは何かを考えて行く必要があります。

比良山麓や近江舞子内湖の過去からの変遷などの事例をひきながら、身近な自然を知ることやこれからのかわり方を一緒に考え対応していくことが生物多様性には必要であると話されました。



プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

《生ごみリサイクルプロジェクト》

8月18日、市民活動センターにて、5人で生ごみ堆肥化資材EMボカシを7個作成しました。また、6月に仕込んでおいたプリン石けんを配付しました。

《ビオトーププロジェクト》

今夏は猛暑続き。晴嵐児童クラブを対象とした北大路どろんここーぷでのどろんこ遊びイベントは、開催予定の8月22日も猛暑日予想で熱中症警戒アラートが発令されたため中止となりました。

8月21日、自然家族事業の大石川探検に備えて、猛暑の中、会場と会場までのアプローチの草刈りをしました。熱中症から身を守るため、10分作業の後20分休憩という過酷な作業でした。



《エネルギープロジェクト》

8月29日、平野コミュニティセンターで開催された大津市保健所主催の「夏休み親子食育教室環境編」にエコ料理チーム6人が講師として協力しました。小学1年生から6年生までの子どもたち7人とその保護者7人に対し、温暖化防止や台所での省エネ、食品ロスなどの講義を行い、また、環境に優しい調理と片付けの実習指導を行いました。ほかに、保健所主催とあって、手洗い指導も行われました。龍谷大学インターン生による特大の手の模型を使った説明は注目でした。



■これからのフォーラム活動（本文に記載の計画は省略）

プロジェクト等の名称	日時	場所・内容
プロジェクト		
生ごみリサイクル	10月 20日(金) 9:00	市民活動センター//生ごみ堆肥化資材EMボカシづくり
里山保全	10月 7日(土) 8:30	春日山公園//例会
	10月 16日(月) 8:30	春日山公園//例会
	11月 4日(土) 8:30	春日山公園//例会
エネルギー	10月 3日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	10月 11日(水) 9:00	生涯学習センター//エコ料理教室リハーサル
	10月 29日(日) 10:00	明日都浜大津//おおつ健康フェスティバル出展
	11月 7日(火) 11:00	大津市センター//定例会議
委員会・実行チーム		
理事会	10月 4日(水) 15:30	ふれあいプラザ//理事会
おおつ市民環境塾実行チーム	10月 14日(土) 10:00	生涯学習センター//講座6「エコ料理教室」
	11月 12日(日) 9:40	膳所市民センター集合//講座7「膳所地区散策」
自然家族事業実行チーム	10月 21日(土) 10:00	大將軍2丁目畑//里の日2サツマイモ収穫予備日10/22
全国ネット補助金事業実行チーム	10月 3日(火) 13:15	大津市センター//連絡調整会議

* 大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）